

未来につなぐ

街並みを活かす
棧敷窓アート^の会の
世話人^ををされて
いる中田穰^{さん}。
平成13年から年
2回行われている
棧敷窓アートや平
成20年から行わ
れている日野ひな
まつり紀行を開催
されています。中
田さんにお話しを伺いました。



【イベントを始めるきっかけ】 地元^ににたくさんいらっしゃる工
芸作家^ののクラフト展^をを日野の特徴である棧敷窓^をを活用してやり
たいと思い、1軒1軒呼びかけ、協力をお願いしました。今で
はひなまつり紀行^でで約150軒の家庭が協力していただいています。
皆さん「お雛さんが喜んでほはるわ」と笑顔で話しかけてく
ださい。イベントが、お客や友だちを呼ぶきっかけにもな
っているようです。



中田穰さん

【中田さんの原動力】 訪れた方が
喜んでくださったり、たくさん
の方が協力してくださったりして、
イベントができることが私の生き
がいです。イベントは上手いく
ことばかりではありません。けれ
ど、上手いくことだけが喜びで
もありません。イベントで生まれ
るつながりや結束力が、私にとっ
て「だから」なのです。



商工会女性部の皆さんによる、地域一体型の結婚式
三方よしのブライダル事業が始まっています。

古き良き まちなみを いかして



日野まちなみ保全会の
皆さんによる既存家屋の
ベンガラ塗りプロジェクト



日野祭曳山の巡行

町のたからを

安心、安全な野菜づくり、食育の取り組みが盛んに行われています。

平成25年4月
中学校給食が始まりました。
あたたかく栄養満点な給食は「うん、おいしい!」



妊婦検診の全額公費費用や福祉医療制度の拡充など安心して子どもを産み育てる制度が充実しています。平成25年4月にはつどいのひろば「ばけっと」が開所しました。



平成27年1月
町立保育所こぼと園では木の温もりあふれる新園舎で保育が始まりました。

日野町連合青年会や西大路ユースクラブなど青年活動が活発です。



どろんこバレー



近所の方同士のつながりが深く、協力しあって暮らしています。



平成21年7月から始まった農村生活体験では都会から年間約3,000人もの子ども達が訪れています。



合唱の町「日野町」たくさんの合唱グループがあり、毎日どこかで歌声がひびいています。